

七条中学校だより12月号

京都市立七条中学校

令和7年11月28日

発行：校長 林 秀雄

「自分の中の『ものさし』を」

ものの長さを測るときに「ものさし」を使います。そのものさしは物事を評価・判断する尺度の意味でも用いられます。ですから、そのものさし自体正しいかどうかは確かめず、ものを測り評価しても、あまり意味のないものにならないと思いませんか。

いよいよ中学校では進路決定の時期になりました。「3年生は」としないのは、1・2年生にとってもまだ先のことと思いつつも、同じ部活動や同じ小学校だった先輩がそれに向け顔つきが変わっていく様子を見ると、1・2年後の自分の姿を先輩に重ね、進路を感じられると思うからです。知っての通り中学校で「義務教育」は終了します。高校や専門学校への進学だけでなく、就職という進路もあります。

私の願いは、「自分の進路に胸を張れ」です。中学卒業後の進路は人それぞれです。義務教育のように仲のいい友達と同じ進路へとはいきません。選択できる進路は1つです。（くつ下を何百足持っていたても、はくのは1足だけです。）

そして進路選択に当たり、たまに「いい高校」や「いい就職先」という言葉を耳にします。果たして、誰にとっても「良い悪い」なのでしょう。また、誰が「良い悪い」を評価するのでしょうか。そこで「ものさし」です。大切なことは、他人のものさしで自分を評価しないこと。確かに人からの評価もモチベーションになることもありますが、他人の評価を気にしてばかりで自分を評価しては自分を見失ってしまいます。

また、「結果」だけが「ものさし」ではありません。先日、面接講座を終えた3年生が元気な声で教室の鍵を職員室に返しにきました。その態度は明らかに「受験」を機に「成長の跡」を感じるものでした。誰もが進路決定において、できれば苦しまずに楽に終わらせたいと願うものですが、苦しんだり悩んだりした経験は人を大きく強くしてくれます。

一番いい進路先はというと、それは、「あなたが進む高校であり、就職先」です。

自分の進路を誇りあるものにする行為だけが、あなたを鍛え、成長させてくれます。

頑張れ、3年生！

「変化を恐れず、挑戦し続ける」

みなさん、今年プロ野球界で大きなニュースがありました。読売ジャイアンツの田中将大投手が、日米通算200勝という偉業を達成しました。田中投手は会見でこう語っています。

「変化を恐れていれば進化はない。立ち向かっていかなくちゃ越えられない、どんな時も。

・・・そこで停滞したら終わり。うまくいくことばかりではない。良くなるためにトライしていかないと良くなるっていかない。若い時でも、年を取ってからでも、そこは変わらない」

この言葉は、私たちの毎日に通じています。新しいことに挑戦するとき、不安や失敗への恐れを感じることはありません。でも、その一歩を踏み出さなければ、成長はありません。田中投手も、苦しい時期を乗り越えるために、フォームを変え、考え方を変え、挑戦を続けました。

みなさんも、勉強や部活動、友達との関わりの中で、変化を恐れず挑戦してください。失敗は成長のチャンスです。挑戦する勇気が、必ずあなたを強くします。七条中で過ごす毎日が、その第一歩です。

保護者のみなさまへ

16日（火）から、三者面談が始まります。年末のあわただしい時期ですが、お子様の2学期を三者でふりかえり、成長を確認したい、次のステップへとつながる時間にしたいと思います。また、3年生にとっては、進路を決めていくにあたって最後の懇談となります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症がじわじわ身近に迫ってきているのを感じています。市内の学校では学級閉鎖も出てきています。本校でも感染症対策は引き続き行っていますが、ご家族も含めお気をつけいただきますようお願いいたします。

諸費及び積立金について

12月分の振替は、12月25日（木）に銀行引き落としとなります。口座へのご入金をお願い致します。

1年	8490円
2年	8870円
3年	2900円
1年育成	6750円
3年育成	750円

